

## 甲賀市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 □地域未来塾 ■放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

### ■目指す姿

未来を担う子どもたちの成長を支え、「社会に開かれた教育課程」を実現するために、学校運営協議会と連携・一体的推進を行い、社会総がかりで教育を行うため「地域学校協働本部」を設置する。

地域学校協働活動には、地域住民が学校教育に積極的に参画し、子どもたちの教育を充実させるという「地域から学校へ」というベクトルと子どもたちが自主的に地域に出ていき地域事業に参画することで、地域の担い手として育っていくという「学校から地域へ」という2つの側面が考えられる。この2つのベクトルをうまく機能させることで、「学校を核とした地域づくり」を推進する。

### ■本年度の具体的活動

本年度より各校の学校運営協議会および地域学校協働活動を推進・支援するために、教育委員会に社会教育統括指導員と市内5公民館の館長を社会教育指導員として配置した。統括は学校教育課との連絡調整を行うとともに、社会教育指導員をとおして、各校への伴走支援を行っている。

学校運営協議会の管理職研修と運営協議会委員および地域学校協働本部関係者の合同研修会を行い、中学校区単位の交流会で情報交換を行った。



【講師を招いての研修】

11月15日(金) 学校運営協議会・地域学校協働活動にかかる管理職、委員研修会

1月～3月(予定) 地域学校協働活動推進員(予定者)研修会

### ■本年度の成果

縦割りで学校運営協議会と地域学校協働本部の連携が十分取れていなかったが、統括指導員が橋渡しをすることで、風通しがよくなった。各公民館に配置された社会教育指導員(公民館長)がエリア内の学校との連携を図り、情報提供するとともに、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の立ち上げや推進を伴走支援する体制ができた。



【中学校区別交流会】

### ■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

地域学校協働活動の目的は「学校を核とした地域づくり」にあり、持続可能な活動にするためには、まちづくり協議会(コミュニティセンター)や公民館とのかかわりが大きくなっていく。そのためには部局を超えた連携が不可欠で、地域の特色を活かした地域づくりをどのように行うか方向を明確にする必要がある。

### ■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

12校20名(継続13名、新規7名)

### ■域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

令和6年度 13校(小学校12校、中学校1校)

令和7年度 24校(小学校18校、中学校6校)

令和8年度 27校(小学校21校、中学校6校) 全校設置予定